

令和7年11月12日

入札参加者 各位

大和郡山市長 上田 清
(公 印 省 略)

旧奈良県立図書館の保存整備に係る土質調査業務
条件付一般競争入札に係る質問事項について（回答）

このことについて、指定期日までに質問の提出がありましたので、下記の通り回答するものです。

記

質問事項	回答
1. サンプリング孔…No.7（この位置はどこでしょうか？No.2 地点の近くと考えてよろしいでしょうか？） φ86mm 5m シンウォールサンプリング これについては、実際に掘進してみるとわかりませんが、現地は段丘面ですので シンウォールサンプリングでは困難です。 φ116mm のデニソンサンプリングでもよいでしょうか？	計画平面図の注意事項に記載のとおり、位置については現地協議にて確定します。 原則、仕様書通りで考えています。 既存資料の収集・現地調査等を行い、別途協議とします。
2. サウンディング調査…No.1,No.3,No.5,No.6 各 5m×4 か所 計 20m スクリューウエイト貫入試験となっていますが、簡易動的コーン貫入試験でもよろしいでしょうか？（最近、スクリューウエイト（旧名：スウェーデン式）はあまり使いません。） この調査の目的は、表土・盛土直下の段丘層の出現深度の確認だと思いますので、簡易動的コーン貫入試験でも問題ないと考えます。	原則、仕様書通りで考えています。 既存資料の収集・現地調査等を行い、別途協議とします。
3. PS 検層…No.8（この位置はどこでしょうか？No.2 地点の近くと考えてよろしいでしょうか？） これだけのために、新たに掘進するのはもったいないです。 No.2 孔を利用するものが、効率的です。また、調査は 15m となっていますが、PS 検層は 20m されています。通常は調査深度と揃えますが、どうしたらよいでしょうか？ PS 検層には、	計画平面図の注意事項に記載のとおり、位置については現地協議にて確定します。 原則、仕様書通りで考えています。 PS 検層については板たたき方式を想定しています。 既存資料の収集・現地調査等を行い、別途協議とします。

サスペンション方式と板たたき方式がありますが、今回は板たたき方式で問題ないと考えますがよいでしょうか？（サスペンション方式は、測定深度より余掘り 5m が必要になります。）

また、PS 検層の目的は、耐震基盤の地層の確認だと思いますが、20m では、目的を達しないと思いますが、いかがいたしましょうか？